

評価表(評価項目一覧表)

技術提案書評価点

評価項目	評価基準(視点)	配点
1. 応札者の経験・能力等		5
(1) 類似業務の経験	過去10年間に類似の業務(海外を含むデータ収集と、その分析)を5件以上受注した経験があるか。	3
(2) 資格・認証等	以下の資格・認証を有している場合に加点する。 <ul style="list-style-type: none"> ・マネジメントに関する資格(ISO9001 等) ・情報セキュリティに関する資格・認証(ISO27001/ISMS、プライバシーマーク等) ・女性活躍推進法に基づく「えるぼし認定」を受けている場合は評価する。 ・次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん認定・プラチナくるみん認定」を受けている場合は評価する。 ・若者雇用促進法に基づく「ユースエール認定」を受けている場合は評価する。 ・その他、本業務に関すると思われる資格・認証 	2
2. 業務実施方針		83
(1) 基本条件の充足	・地域、国数が満たされているか	3
	・調査手法とその手法を選定した理由に関する記載があるか	3
	・サンプルサイズの設定は妥当であるか(層化無作為抽出法を採用しているか、性別、年代、都市、階層、人種等に関する記述はあるか、nationwideで実施することを理解しているか)	4
	・上限価格範囲内であるか(適切な価格設定であるか、不透明な要素はないか)	3
(2) 企画・分析力	・国の選定理由は妥当であるか(国際協力、各国の援助動向、JICA、JICA事業を取り巻く状況の記載があるか。調査実施が選定国で技術的に可能であることに対する説明はなされているか)	25
	・数値データの信頼性担保に関する記述はあるか(市場代表制や統計信頼度、クロス分析に耐えうるサンプルサイズであることの説明があるか、データ制度確保に向けた取り組みや工夫がなされているか)	20
	・データ分析能力や成果品の質の確保への取り組み(分析に実績や工夫があるか、PPT作成等に工夫があるか、広報手法導出に関する示唆に期待できるか、クオリティコントロールへの取り組み記載があるか)	20
	・その他本業務の実施に関連して評価すべき提案事項があるか。	5
6. 業務実施体制		6
(1) 業務実施体制及び要員計画	・業務内容と量に対応し得る人員が確保され、かつ効率的・効果的な業務実施管理体制が確立されているか。	3
(2) 業務実施スケジュール	・具体的かつ現実的なスケジュール案が提示されているか。	3
7. 業務総括者の経験・能力		6
(1) 類似業務の経験	・プロジェクトマネージャー、類似業務(調査分析、広報手法分析等)の実績が過去3件以上あるか。	3
(2) 業務能力	・プロジェクトマネージャー本件業務実施に必要な知識・技術・能力・熱意があるか。	3
合計点		100